

**穴吹不動産流通(株)鹿児島店****「市況レポート(2021年1月)」**

～2021年1月28日 日本銀行鹿児島支店 鹿児島県金融経済概況より～

**【概要】**

- ・鹿児島県の景気は、このところ足踏み状態となっている。
- ・すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、足もとでは一部に弱めの動きがみられているものの、基調としては緩やかに持ち直している。  
観光は、再び厳しい状況にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。  
公共投資は、増加している。生産は増加している。
- ・企業部門の動向を短観（12月＜鹿児島・宮崎両県集計分＞）で見ると、景況感は、持ち直しつつある。設備投資は、高水準で推移している。  
こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。

**【各論】****1. 個人消費**

百貨店・スーパー販売額は、前年を下回った。家電販売額と乗用車新車登録台数（含む軽自動車）は、前年を上回って推移している。

**2. 観光**

主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を下回って推移している。

**3. 公共投資**

公共工事請負金額は、前年を上回った。

**4. 住宅投資**

新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年を下回った。

## 5. 生産

鉱工業生産指数（季節調整済）は、汎用・生産用機械、食料品を中心に前月を上回った。

## 6. 雇用・所得環境

有効求人倍率（季節調整済）は、上昇した。

現金給与総額は、前年を上回って推移している。

常用労働者数は、前年を下回って推移している。

## 7. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を下回って推移している。

## 8. 金融面

預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、緩やかな低下が続いている。

企業倒産件数は、低水準で推移している。

以上

~~~~~

## 【まとめ】

鹿児島県金融経済概況の概要によると、このところ足踏み状態となっておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大によっては、外出自粛制限等の措置がとられ、経済に影響を及ぼすことが考えられます。

現在、不動産売買の繁忙期が到来していますが、例年と比較すると需要のあるエリアの売物件が大幅に少ない状況となっております。また、将来の景気は不透明ですので、現在ご所有の不動産について売却を検討中及び計画等がありましたら、今が素早く高値で売却できるチャンスです。是非一度あなぶき不動産流通にご相談ください。

また、居住用物件をお探しの方についても、当社アフターサービスとして「アルファ家サポート」を提供しております。物件のご購入から実際に生活を始めた後もしっかりとサポートさせていただきますので、是非当社にお任せください。